

5 各部の規定・施工

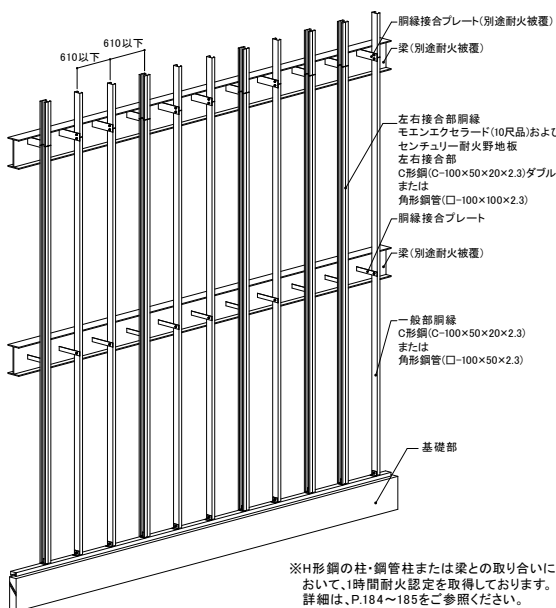
■ 胴縁の施工

● 材質・寸法 鉄骨胴縁を下地とします。鋼材は下表に示します。

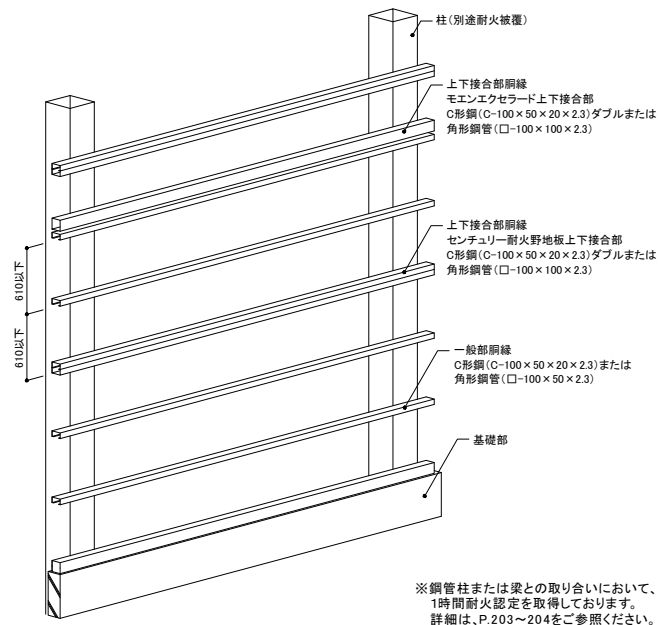
部位	規格	サイズ	方向	胴縁間隔
一般部	JIS G 3350 一般構造用軽量形鋼	C-100×50×20×2.3mm以上	横張り:縦胴縁 縦張り:横胴縁	610mm以下
	JIS G 3466 一般構造用角形鋼管	□-100×50×2.3mm以上		
目地部	JIS G 3350 一般構造用軽量形鋼	C-100×50×20×2.3mm以上×2本		
	JIS G 3466 一般構造用角形鋼管	□-100×50×2.3mm以上×2本、 □-100×100×2.3mm以上		

● 胴縁の設計と施工

- モエンは風荷重を受けますので、下地材は設計計算により最大610mm以下の所定の間隔になるように設定してください。
- 鉄骨躯体梁にあらかじめ胴縁接合プレートを留め付けておいたものに、不陸を調整しながら鉄骨胴縁を留め付けてください。
- 下地躯体の梁および胴縁接合プレートは別途耐火被覆してください。
- 階高さなど、鉄骨胴縁の上下留付間隔が長くたわみが大きくなる場合は、胴縁間隔を狭めたり、耐風梁を入れるなど鉄骨胴縁のたわみ変形を1/200以下に抑えるよう設計してください。



- 鉄骨胴縁はC-100×50×20×2.3以上または□-100×50×2.3以上で縦胴縁とし、最大610mm以下の間隔で組んでください。
- センチュリー耐火野地板の左右接合部はC形鋼をダブルで組むまたは角形鋼管(□-100×100×2.3以上)としてください。
- モエンエクセラード(10尺品)の左右接合部はC形鋼をダブルで組むまたは角形鋼管(□-100×100×2.3以上)としてください。
- モエンエクセラード(6尺品)の左右接合部はC形鋼または角形鋼管(□-50×100×2.3以上)でも可能です。



- 鉄骨胴縁はC-100×50×20×2.3以上または□-100×50×2.3以上で横胴縁とし、最大610mm以下の間隔で組んでください。
- モエンエクセラードの上下接合部および、センチュリー耐火野地板の上下接合部はC形鋼をダブルで組むまたは角形鋼管(□-100×100×2.3以上)としてください。

■ 面材の施工

● 屋外側被覆材の施工

耐火時間	種類	規格	厚さ	留め付け
1時間・30分 共通	センチュリー耐火野地板	JIS A 5404	18mm以上	固定用材料：リーマドリルビス φ4mm×37mm以上 留付間隔：鉛直方向303mm以下、水平方向610mm以下

● 屋内側被覆材の施工

下張り

耐火時間	種類	規格	厚さ	留め付け
1時間	強化せっこうボード	JIS A 6901	12.5mm以上	固定用材料：ドリリングタッピンビス φ3.5mm×25mm以上 留付間隔：周辺部200mm以下、中間部300mm以下